

## 大会名：第20回全日本実年ソフトボール大会、大阪予選会

準決勝

会場：八尾市・府立八尾翠翔高等学校

試合日：平成23年 7月 3日

### 試合戦評 岸和田クラブ 決勝戦へ !

岸和田クラブは3回表、松尾、山本、黒岩の3連打で3点先制し、5回には坂本の2点本塁打でダメを押し勝利した。

一方、茨木実年は走者を出すも得点に結びつかず、ようやく6回、宇治橋、田橋、梶原、広川の4安打で2点を返し一矢を報いた。

実年大会とは思えない攻守の連続で両チームのレベルの高さを目の当たりにした。

記載者 山口秀蔵

準決勝

会場： 四条畷市 北谷公園グラウンド

試合日：平成23年7月17日

### 試合戦評 ドリームス 宮崎投手の好投で決勝進出 !

ドリームスは2回、横山の三塁打を含む5安打、打者10人の猛攻で大量6点を先取する。3回以降も得点を重ね決勝進出を決めた。

一方、吹田クラブ実年は相手投手の好投と好守備に阻まれ、1点を返すのみで涙をのんだ。

記載者 村尾正則

## 3位決定戦

### 試合戦評 茨木実年ワンチャンスで逆転し、3位を確定 !

3点先行された茨木実年は、4回迄走者を出すも名越投手に抑えられ、得点を挙げられず苦戦をしていたが、5回に相手投手の交代を機に、黒岩、田橋の安打と四死球の後、廣川の適時三塁打で4点を挙げ逆転。4回からリリーフした吉田投手が無安打に抑え勝利した。

一方、吹田クラブ実年は2回に1点、3回に荒谷の二塁打等で2点とリードを広げた後守りを固めようと投手交代したが誤算が生じ勝利することが出来なかった。

記載者 宮 妙子

## 決勝

### 試合戦評 ドリームス毎回の13安打で接戦を制し優勝 !

先制点を許したドリームスは2回、すかさず同点とし、再び5回にリードされるが、その裏横山の本塁打、加藤の三塁打等で逆転。6回には西田、樋口の三塁打等で得点し、追撃をかわし有終の美を飾った。

一方、岸和田クラブは先制点を挙げた後、よく相手の攻撃に耐えたが、リードされた7回に1点返すも打線が繋がらず一歩及ばなかった。

記載者 村尾正則